学校番号	３００２

令和８年度　農業科（食品加工科）

教科	農業	科目	食と人間	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・農業や食文化は気候風土などの自然環境や宗教、風俗・習慣などとかかわって成り立ってきたことを学びます。
・日本と世界の農業と食文化について代表的な内容を例示し、日本の農業や食生活の変遷について各時代の特徴を学び、また、世界の農業や食文化では、おもな食文化圏の特徴や料理様式について学びます。
・農業と食に関する身近な題材を取り上げ、興味関心を持ち、農業と食を正しく認識して、現代の食事情について学びます。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
日本や世界の農業・食文化に関する知識を体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
日本や世界の農業・食文化に関する課題を発見し，農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
日本や世界の農業・食文化を理解し，農業の各分野で応用できるよう自ら学び，農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本と世界の農業や食文化、農業や食文化の伝承と創造について、基礎的な知識を身に付けている。	日本と世界の農業や食文化、農業や食文化の伝承と創造について、合理的かつ創造的に表現する力が養われている。	日本と世界の農業や食文化、農業や食文化の伝承と創造について、その振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	農業と食文化の成り立ち	気候風土や宗教、風俗・習慣と農業・食文化の成り立ち	a: 農業や食文化の成り立ちについて基礎的な知識を身に付けている。 b: 気候風土などの要素と農業や食文化の成り立ちとの関係性について考え表現することができる。 c: 農業や食文化の成り立ちついて関心を持ち、意欲的に学習に取り組み自らの学びを調整しようとしている。	小テスト 定期考査	課題 レポート 小テスト 定期考査 発表	課題 ノート 学習状況 発表
	日本の農業と食文化	日本の農業と食生活の変遷 農業と日常食、行事食、郷土料理 日本の料理様式の発達 ・大饗料理 ・精進料理 ・本膳料理 ・懐石料理 ・会席料理など	a: 日本の農業と食文化について基礎的な知識を身に付けている。 b: 日本の農業と食文化ついての課題を見つけ、その解決を目指して思考し表現することができる。 c: 日本の農業と食文化について関心を持ち、意欲的に学習に取り組み自らの学びを調整しようとしている。			
2学期	世界の農業と食文化	世界の農業と料理様式の特徴と文化 中国の料理 欧米の料理 エスニック料理 その他	a: 世界の農業と食文化について基礎的な知識を身に付けている。 b: 世界の農業と食文化についての課題を見つけ、その解決を目指して思考し表現することができる。 c: 世界の農業と食文化について関心を持ち、意欲的に学習に取り組み自らの学びを調整しようとしている。	小テスト 定期考査	課題 レポート 小テスト 定期考査 発表	課題 ノート 学習状況 発表

3学期	食育と食文化の伝承	農業と食生活の国際化 食文化の伝承、和食 食品保存の技術 食育の推進について	a: 食育や食文化の伝承について基礎的な知識を身に付けている。 b: 食育や食文化の伝承ついての課題を見つけ、その解決を目指して思考し表現することができる。 c: 食育や食文化の伝承について関心を持ち、意欲的に学習に取り組み自らの学びを調整しようとしている。	小テスト 定期考査	課題 レポート 小テスト 定期考査 発表	課題 ノート 学習状況 発表

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度